

ホルモン抵抗性前立腺癌に対する放射線照射の有効性に関する研究のお知らせ

帝京大ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2020年7月6日～2030年3月31日

〔研究課題〕

非転移性去勢抵抗性前立腺癌(M0CRPC)に対する放射線外照射の有用性の検討

〔研究目的〕

前立腺癌は、ホルモン抵抗性になった場合には抗がん剤や新規ホルモン療法薬の適応があります。転移を認めない限局性の去勢抵抗性前立腺癌に対して、放射線治療が有用であるか検討することを目的とする研究です。

〔研究意義〕

できるだけ癌の治療は根治的であることが望ましく、前立腺癌は長期にわたり原発巣から腫瘍細胞が血液によって全身に転移するため、その予防効果を期待して局所治療を追加することでより再燃までの期間を長く、生存期間を延長できると考えます。この治療の有効性が示されれば、去勢抵抗性前立腺癌の治療法の選択肢が増え、患者様に幅広い医療が提供できることとなります。

〔対象・研究方法〕

2008年から2020年3月までに当院で転移性前立腺癌と診断され、ホルモン療法および放射線治療を行った患者様を対象とします。採血検査のPSA値と、再発の有無、生存の有無などをカルテからデータ収集を行います。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター

〔個人情報の取り扱い〕

すべて匿名化して情報を扱い、研究発表も匿名で行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 准教授 小島聡子

研究分担者： 教授 納谷幸男

所属： 帝京大学ちば総合医療センター泌尿器科

住所： TEL:0436-62-1211(代表) [内線 1240]